



平成21年11月13日

各位

上場会社名 太平電業株式会社
 代表者 代表取締役社長執行役員 高橋 徹
 (コード番号 1968)
 問合せ先責任者 取締役上席執行役員総務管理本部長 光富 勉
 (TEL 03-5213-7211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,300	1,460	1,540	840	19.80
今回発表予想(B)	32,433	1,952	1,980	924	22.17
増減額(B-A)	△2,867	492	440	84	
増減率(%)	△8.1	33.7	28.6	10.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	36,336	4,166	4,368	2,309	53.98

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	64,800	3,590	3,710	2,060	48.55
今回発表予想(B)	65,200	3,240	3,300	1,475	35.36
増減額(B-A)	400	△350	△410	△585	
増減率(%)	0.6	△9.7	△11.1	△28.4	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	73,955	7,107	7,287	3,731	87.95

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	34,600	1,420	1,500	830	19.56
今回発表予想(B)	31,911	1,896	1,906	938	22.48
増減額(B-A)	△2,689	476	406	108	
増減率(%)	△7.8	33.5	27.1	13.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	35,452	3,982	4,164	2,247	52.53

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	63,000	3,400	3,540	2,000	47.13
今回発表予想(B)	63,450	3,040	3,130	1,410	33.80
増減額(B-A)	450	△360	△410	△590	
増減率(%)	0.7	△10.6	△11.6	△29.5	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	71,983	6,865	7,064	3,691	86.98

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結および個別の業績予想につきましては、昨年から続く景気後退による受注環境の悪化が、当初予想よりも長引いたため、上記の業績となる見込みであります。

売上高につきましては主に製鉄関連工事の売上高が伸び悩んだことにより、当初予想を下回る見込みであります。

一方利益面につきましては、施工方法の改善がみられ、人材の育成などによる人的資産の効率化などによる原価低減策により営業利益、経常利益および当期純利益のいずれも当初予想を上回る見込みであります。

通期の連結および個別の売上高につきましては、事業用原子力関連の耐震補強、高経年化対策工事および一般のメンテナンス工事が順調に推移すると予想されており、当初予想を上回る見込みであります。

利益につきましては、大型の建設工事がほぼ完了し、プラントの設備更新の端境期と相まって国内工事の受注動向も芳しくないことから、さらに受注価格の競争化が進み、原価率の悪化が懸念されることから当初予想を下回る見込みでありま

す。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上